

塩治
地区

社会福祉協議会便り

編集・発行 塩治地区社会福祉協議会 事務所 塩治コミュニティセンター内 TEL 21-0248

塩治社協ホームページ <http://enyashakyo.skr.jp/>

『塩治地区児童福祉綱引き大会』4年ぶりに開催！



令和5年10月22日（日）、24回目となる『塩治地区児童福祉綱引き大会』を塩治小学校体育館で開催しました。コロナ禍を経て4年ぶりの開催で、初めて参加する子どもたちや役員・引率者も多く、期待と不安が入り混じる中でのスタートとなりました。

子ども会20分団より17分団が参加。3分団が複数チーム、6分団が単独チーム、8分団が合併チームを作って、16チームで試合を行いました。予選は16チームを4チームずつ4つのグループに分け、2つのコートでリーグ戦を行いました。最初は静かに試合が始まりましたが、



「ソーレ！ソーレ！」の掛け声や応援の声が徐々に大きくなり、会場に活気があふれて、210名の子どもたちが力を合わせ、チームの勝利のために全力で綱を引き合う姿は壮観でした。

その結果、予選を突破したチームは、小松、築山西・高西4B、半分青、築山東、弓原赤、菅沢・高西3、海上・大正、弓原青の8チームでした。

決勝トーナメントは全員が注目する中で白熱した闘いが繰り広げられ、優勝した半分青チームはほとんどの試合を2本連取で勝ち進み、“圧倒的な強さ”を見せました。子ども会会長の杉原さんや各係のリーダーを中心として、世話係の方々と35名の引率の方々の見事な連携プレーにより、スムーズに大会運営ができました。私たちの心配事は杞憂に終わり、子どもたちの笑顔を沢山見ることができ、楽しく過ごすことができました。塩治小学校を始め、この大会に関わって頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。（青少年育成部 土屋 淳）



- 1位 半分青チーム
- 2位 弓原青チーム
- 3位 小松チーム
- 4位 菅沢・高西3チーム



日本文化体験の集い

大きなおいもが採れたかな？

人気の食育イベント、今年も大にぎわい！

10月14日(土)、妙伝寺の畑は子どもたちの歓声で溢れました。今日はみんなが楽しみに待っていたさつまいも掘りの日です。集まったのは塩冶地区にある3つの児童クラブの子どもたち43人、保護者やスタッフを加えると71人の参加者です。

いも掘りは、塩冶社協青少年育成部が一昨年から始めた食育の取り組みです。実際に畑で作物を育てて収穫し、調理・試食することで、食べ物大切さや作る人への感謝の念を育むものです。さあ、いも掘りのスタートです。



「さつまいもがあった！」「ここにもあったよ！」

畑のあちこちから歓声が上がります。子どもたちは一心不乱、手やシャベルで懸命に掘ります。大人たちは後ろに控えて、スコップで子どもたちのお手伝いです。

今年はいもの出来が悪く心配しましたが、数は少ないものの大きいものが育っていました。

例年行っている「大きなおいもコンテスト」で一等賞となったのは、1,764グラムもある大きいもでした。これを掘ったなつめちゃんは表彰台に上がってニッコリ！

自分の顔より大きいものを掲げて見せました。



また、今年はいも掘りに一工夫を加え、畑に“くじ”を埋めておき、見つけた人に景品を渡す「宝探しゲーム」も行いました。いもと一緒にくじを見つけて大喜び。楽しみが二倍になり、子どもたちは大満足でした。

盛会だった今回のイベントもたくさんの人たちに協力をいただきました。子どもたちの引率や見守りをいただいた児童クラブのみなさん、遠く松江から駆けつけてくれた島根大学の学生さん、畑の管理作業を手伝ってくれた出雲二中の生徒さん、また会場をお借りした日蓮本宗妙伝寺の田中英潤住職に改めてお礼を申し上げます。

(青少年育成部 布野達也)

あげそげ塩冶福祉座出前公演

10月4日(水)、上津コミセンにおいて、「令和5年度悪質商法・特殊詐欺撃退モデル地区指定式」が行われ、式の中であげそげ塩冶福祉座は寸劇をさせていただきました。



悪質商法や特殊詐欺の被害を未然に防止するため、毎年各地区を「モデル地区」に指定し、住民の意識を高めるような啓発活動が行われています。今回の寸劇には出雲署生活安全課の高橋恵子巡査部長の特別出演、現役警察官による説得力ある寸劇となりました。



公演の後に、出雲警察署生活安全課の方から、県内で発生した特殊詐欺被害について話がありました。

昨年の島根県内での特殊詐欺の被害件数は56件で被害金額は約7,272万円、出雲市内では14件で約615万円の被害状況だったそうです。

また今年は8月末現在で、島根県内は49件で約1億2,466万円、出雲市内は17件で約1,409万円の被害状況とのこと。

既に昨年1年間の被害額を超えているそうです。

詐欺被害者にアンケート調査をすると...

被害者の70%が「自分はだまされない！」と思っていた

特殊詐欺は遠いところで起きているのではなく、自分の直ぐ身近に起きている事件であること、改めて注意しないといけません。

(企画部)

令和5年8月末現在 特殊詐欺の被害状況	
～島根県内～	
被害件数	49件
被害金額	約1億2,466万円
昨年1年間の額を超えている	
～出雲市内～	
被害件数	17件
被害金額	約1,409万円
昨年1年間の件数、額を超えている	

あげそげ塩冶福祉座

塩冶地区の各サロン会で、寸劇や健康体操等の活動を行っています。



天神サロン会での寸劇の様様

揚東 サロン会

大切な人を救うため とっさの手当とAED講習

5月29日(月)、塩冶コミセンにおいて、“大切な人を救うため とっさの手当とAED講習”と題し、参加者21名でふれあいサロン会を開催しました。

講習は日本赤十字島根県支部の救急法指導員3名による1人1体の人形とAEDの実技と充実した内容でした。AEDが届くまで、救急車が到着するまでの心肺蘇生は、胸骨圧迫30回、人工呼吸2回の繰り返しで皆さん息が上がりながらも、



「強く、速く、絶え間なく」と一生懸命でした。

最後にのどに物が詰まったときの対応として、背中をしっかりと叩く方法、腹部圧迫法を教わりました。

AEDを実際に扱ったことで、「救急の時に自分も手伝えることがある」と前向きな気持ちになることが出来ました。「不安だったが、参加して良かった。」と好評でした。

今後は、奥出雲へのお出かけサロン会やポッチャで交流を行う予定です。多数の参加で元気で笑顔いっぱいの揚東サロン会を行っていきたいと思っています。

(揚東理事 錦織二三枝)

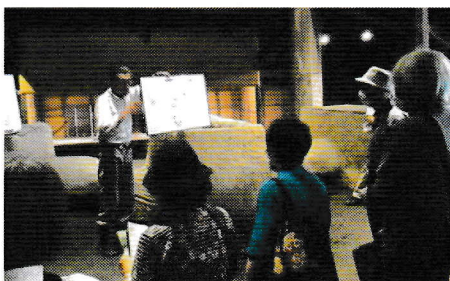
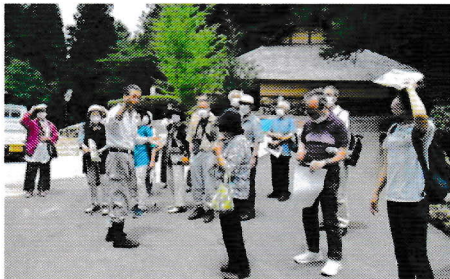
菅沢・下沢 サロン会

新装の菅谷たたらの見学と 青嵐荘でゆつくり

6月23日(金)、お出かけサロン会を参加者20名で、新装となった吉田町の菅谷たたらと青嵐荘に行ってみました。みなさん初めての菅谷たたらです。山間に佇むたたら製鉄の施設や働く人達の長屋もあり、昔の人たちの暮らしに想いを馳せながらの見学です。

説明はJR西日本の「瑞風」の乗客も案内されている方で、予定時間をオーバーするほど、詳しく面白おかしくお話いただきました。

たたら製鉄の土炉は長さ約3m、幅約1m、高さ約1mほどの大きさですが、水分の影響を受けないように、炉の地下部分はとても複雑な構造になっている



弓原 サロン会

ハーモニカ演奏で 台唱を楽しみました!

6月15日(木)、依然としてコロナ禍が心配されている状況のなか、弓原集会所において参加者18名により、3年ぶりにサロン会を開催しました。今回の講師は元中学校長で陸上競技の協会要職を務められ、現在はハーモニカ奏者として県内を中心に演奏活動が行われている岩崎 巖さんをお招きし、『わくわく、どきどき、心地よく』〈出会いに感謝〉と題して演奏をしていただきました。

55歳の頃に視力が衰え、視覚障害者の認定を受け、失意の底にいた63歳の頃にハーモニカの音色に魅了されたことから、教室に通って演奏法を学び、奥様に支えられながら演奏活動を行っているとのこと。「五感のうち一つが不自由になっても、まだ残っている感覚があれば人生を豊かにする」と当時の心境を振り返られたのが印象的でした。ハーモニカに合わせて、みんなで大合唱



「たなばな」「茶つみ」「故郷」「川の流れるように」・・・昔にタイムスリップしたようなとても楽しい時間でした。

そして人生は『あ・た・ま』(あ)明るく(た)楽しく(ま)前向きに、の言葉に参加者一同、これからの人生の糧にしたいと強く思いました。

この後、軽食を行いながら、参加者のみなさんから、次のサロン会の開催について、意欲的な意見がかわされ、社協理事としてとても嬉しく思いました。

(弓原理事 星野民子、石川由美子)



とのことです。もしも水気が炉に上がってしまうと水蒸気爆発を起こすこともあるとか・・・。

たたら製鉄は長い年月の間にたくさんの失敗や工夫を重ねて作り上げられた技術です。昔の人の努力と知恵にはつくづく感心させられます。

清嵐荘に到着すると特製のお昼ごはん、「美味しい、これで十分だわあ」と食事をいただきながら話しも弾みます。



久しぶりのサロン会で人数が集まるか心配でしたが、思いの外たくさんの方に参加いただきました。みなさんとても楽しく、良い時間を過ごすことができたように思います。

(菅沢・下沢理事)

ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申しあげます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。

今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(7月1日から10月31日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名 故人名 住所・区域名 寄附金額

篤志寄附

寄附者名 寄附金額 寄附の趣旨

※ 掲載欄の — は、掲載を希望されない方

子ども食堂へのご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から子ども食堂へご寄附をいただき、心よりお礼を申し上げます。今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

篤志寄附

寄附者名 品名 区域名

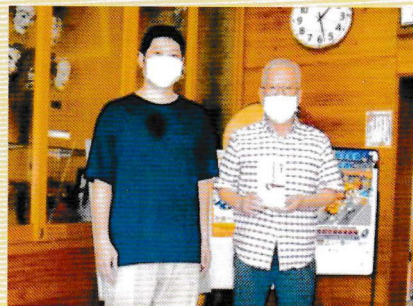


この地区社協便りは、「出雲市社会福祉協議会の会費、寄付金、共同募金を財源とした助成金」を財源の一部としています。

塩冶クラブからの助成金を町内子ども会へ

9月6日(水)、塩冶コミセンにおいて、塩冶クラブ(幹事長 珍部芳裕氏)から助成金(100,000 円)を頂戴しました。

この助成金は塩冶社協から地区内の 21 の町内子ども会に均等に配付され、子ども会の活発化と地域コミュニティの活性化の貴重な財源として生かされています。



塩冶クラブからの助成金は、2006(H18)年度から始まり、今年度までで累計 1,805,000 円をいただいております。誠にありがとうございました。

～塩冶遺族会からの寄附金贈呈～

10月20日(金)、塩冶コミセンにおいて、塩冶遺族会から寄付金を贈呈いただきました。

遺族会の会員が高齢となり、今後の活動や組織運営が難しくなり、遺族会を解散されることになったようです。会の解散に伴い、『塩冶地区の子育てや高齢者のために有意義に使ってほしい』との趣旨で寄附をしていただきました。

寄附の趣旨に沿うよう、大切に使用させていただきます。



誠にありがとうございました。

***** 編集後記 *****

現在、私は松江市の「くにびき学園」に通ってます。現役をリタイアしたシニア世代が集まり、社会福祉活動や地域ボランティア団体と交流し、新たな生きがいを学習する所です。

先日「多文化共生社会」の授業がありました。国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築き、地域社会を共に生きるという事です。現実には差別や人権問題など様々な課題を抱えてるだろうと考えつつ、記事にある「綱引き大会」にスタッフとして参加しました。

なかでもひと際目立って、自グループ以外の子にも「頑張れ！諦めるんじゃない！お前は出来る!!」と肩を抱き合って応援している子がいました。そばにブラジル(?)の両親が付き添い汗だくの応援でした。

ああ子供達にとっては多文化共生という言葉は知らなくても立派に実現しているなあと思わず一人悦に入る私でした。
(理事 珍部 高広)